

日ト発第116075号

平成23年11月 9日

会員各位

社団法人日本トンネル技術協会

事業委員長 桑原 彌介

公印略

大師線連続立体交差事業(地下化)工事建設現場研修会開催のご案内

— 開 削 工 法 —

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動には種々ご支援賜り誠に有り難うございます。

このたび、京浜急行電鉄株式会社はじめ関係各位のご協力により下記のとおり現場研修会を開催することといたしました。川崎市の都市計画事業として行われている本工事は、大師線約5kmのほぼ全線を地下化することにより、東京大師横浜線(産業道路)をはじめとする計14か所の踏切を除却し、道路交通の円滑化を図るものです。現在、事業の効果を早期に発揮させるため、東門前駅付近～小島新田駅付近の約980mの区間において、段階的整備として開削工法により地下化工事を行っています。

本工事で鉄道が地下化されることにより、道路を分断していた踏切がなくなり、踏切事故の解消・交通の円滑化及び交通渋滞の解消に伴う環境改善が期待できます。

本研修会は、現在掘削及び躯体構築工事の最盛期となっている大規模開削工事を対象としており、都市域での近隣住民に配慮した施工等についての課題や留意点を習得できる大変有益な機会と思われまますので、奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

なお、本研修会は、(社)土木学会のCPDプログラムに認定されているほか、土木学会トンネル工学委員会後援事業でもあります。

敬具

記

1. と き：平成23年11月28日(月)

2. 工事概況

工 事 名	大師線連続立体交差事業(地下化)
発 注 者	京浜急行電鉄株式会社
施 工 者	第1工区 大成・京急・東亜建設共同企業体 第2工区 大林・戸田・前田・三井住友建設共同企業体 第3工区 鹿島・西松・大豊建設共同企業体 第4工区 東急・京急・間建設共同企業体
主な見所	構造形式：箱型トンネル 工 法：開削工法 掘削断面：幅11m×縦14m(直線部代表断面) 掘進延長：連続立体交差事業区間延長約5km、うちトンネル区間980m 特 徴：営業線の直下地下化工事 地下水位が高い(GL.1.0m)状況での土留め工法と止水工法の工夫

平成 年 月 日

社団法人日本トンネル技術協会
催物受付係りあて

【 FAX 03-5148-3655 】

大師線連続立体交差事業(地下化)工事建設現場研修会申込書

下記のとおり申込みいたします。

参加者氏名：	年齢：	
電 話：	—	—
会 社 名：		
所 属 役 職：		

【集合場所】

14：45 京浜急行大師線 東門前駅改札口出口前集合

—集合時間に遅れる方は直接開催場所（会議室）へお越しください。駅から徒歩5分程度—

